

平成25年度 プロファイルを活用した教育評価

プロフィールとは、本校を「卒業する時点での児童のあってほしい姿」を建学の理念に即して具体的に描き出し、教育活動の到達目標としたものです。

つまり、本校が目指している3つのモットーを具体的に子どもの姿として表現したものです。

3つのモットーは、4つの視点(1 宗教的感性 2 聡明さ 3 思いやり 4 たくましさ)に対応させて表現しています。

本校では、1997年から行事や教育活動全体の反省へ活用しています。

活用にあたっては、次のような点に留意しています。

- ①それぞれの場で有効に活かしていくために目標を具体的な児童の姿としてもので、児童をこの姿に向けて追い込んでいくものではない。
- ②学校全体が志向する姿としての評価基準とし、児童個人のチェックポイントにはしない。
- ③「この教科ではこの点を」というように意識する手がかりとし、卒業する時点で、全体にある程度目配りができていたという結果を目指す。

学校の教育活動全体に対する評価としては、10年以上継続していますので、比較検討できるものになっています。

過去5年の結果と合わせて、本年度の教育活動について、教職員で行った評価を提示しました。

常勤の教職員が3段階で評価したものを点数化しました。

◎=かなり近づいていくことができた ○=その方向にむかっていたと思える

△=向かっていたとはいえない

	評 価			点数化し、満点との割合を%で ◎2 ○1 △-2				
	◎	○	△	2013	2012	2011	2010	2009
1 宗教的感性を持つ子ども								
1. 自分の心の中に神様の存在を感じています。	8	12	0	70	78	69	63	71
2. 神様に大切にされていることに気付いています。	8	12	0	70	64	57	74	76
3. 神様に素直にお話ししたり、心を込めて祈ったりすることができます。	3	13	4	28	64	67	68	68
4. 目に見えないものに対しても価値を認め、それらを大切にすることができます。	2	17	1	48	64	62	53	66
5. 自分らしさに気づき、それを伸ばしていくことに喜びを感じています。	7	13	0	68	64	60	68	68
6. 創立者や聖人の生き方に学び、自ら向上しようと努力することができます。	6	12	2	50	64	71	68	58

2 聡明な子ども

1. 自分の良心に従って行動しようと努力します。	5	14	1	55	56	66	63	61
2. 物事をじっくり考え、深く理解しようとします。	3	15	2	43	53	61	63	61
3. 学び方を体得して、自ら進んで新しい課題に取り組もうとします。	10	10	0	75	72	71	42	69
4. ものを工夫し、つくり上げることに喜びを感じることができます。	9	11	0	73	75	82	82	71
5. いろいろな事象をもっと知りたいという好奇心が育っています。	10	10	0	75	84	79	82	87
6. 勉強・仕事・遊びなどを楽しみながらすることができます。	11	9	0	78	79	68	79	82
7. 自分の感じたことや考えたことを人に分かるように表現します。	2	17	1	48	58	61	55	58
8. 相手の考えを尊重し、大切に聞こうとします。	2	17	1	48	55	39	45	47

3 思いやりのある子ども

1. 優しい心で、友達を受け入れたり、許したりすることができます。	4	16	0	60	75	74	73	63
2. いろいろな人と仲良く力を合わせて活動したり、勉強したりすることができます。	10	10	0	75	74	75	79	55
3. 素直な心で「ありがとう」「ごめんなさい」を言うことができます。	6	15	0	64	78	63	74	63
4. 相手の立場に立って、助けを必要としている人には、進んで手を差し出します。	5	15	1	55	74	66	76	73
5. クラスや学校をよくするために自分から進んで働こうとします。	7	13	1	60	66	61	55	58
6. 動物や植物など生きているものを大切にすることができます。	9	11	0	73	66	66	70	65
7. 感謝の気持ちを持って、ものを大切にします。	1	18	1	45	53	37	38	61
8. 広い心で、あらゆる立場の人に関心を持ち、理解しようとします。	3	17	0	58	56	66	58	58

4 心身ともにたくましい子ども

1. 進んで運動に親しみ、健康な心身を作ろうと努力します。	12	7	1	73	72	69	75	66
2. 失敗してもあきらめないで、何度でもやり直そうとします。	3	17	0	58	50	58	61	53
3. まわりに流されないで、正しいと思うことが実行できます。	1	15	4	23	53	32	47	47
4. 骨惜しみせず責任を持って自分の果たすべき仕事をします。	6	14	1	57	61	63	60	55
5. 苦しいことや嫌なことでも、しなくてはならないことに挑戦します。	4	17	0	60	50	55	53	53

考察

満点を100点とした時の各項目の点数を表しています。全職員が○(その方向にむかっていたと思える)を選んだ場合が50点になりますので、50点以下になっている項目が課題とされます。

昨年はその項目がなかったのに比べて、今年は7つもありますが、特に今年になって悪くなったというよりも、指導が十分とは言えないという課題意識が高まったといってもよいのではないかとされます。

特に例年、宗教的感性については点数が高めでしたが、今回はキリスト教の信者の先生を中心に厳しい評価がなされていました。

7つの項目はどれも日々の指導の積み重ねが必要な項目ばかりです。授業や行事などにおいて、意識的に具体的な取り組みを入れていく中から、「その方向にむかっていたと思える」実感を持てるように努力していきたいと思えます。

